

吉川中だより

自立・規律 平成25年3月号



春蘭 (しゅんらん)

山野などに生える。花は葉と同じような色なのであまり目立たない。土筆(つくし)のようにひよろひよろと茎を伸ばしてくる。

HP季節の花300より

平成25年3月の予定

- 3月4日(月) … 公立後期出願 (～5日) 黙動清掃週間～8日(金)
- 3月11日(月) … 公立後期選抜
- 3月13日(水) … 卒業式予行 前日準備 (5・6限)
- 3月14日(木) … 第66回卒業証書授与式 9:00～
- 3月15日(金) … 生徒相談～21日
- 3月18日(月) … 生徒会立会演説会 役員選挙
- 3月21日(木) … 大掃除 3・4限
- 3月22日(金) … 修了式

◇放課後まなび舎教室=15:50～16:50 243教室
3月の実施日(火と木) 5,7日 計2回

豊能町の歴史等を紹介します
本町での学校給食の始まりは、昭和二三年(一九四八)である。同年の「東能勢村事務報告書」に、『進駐軍当局の厚意による待望の給食：九月より実施する。それに伴い設備は保健衛生上の見地により改良修築のやむなきに至り・・・』とある。その後占領軍の小麦贈与がなくなり、中止となった。六年後の昭和二十九年に吉川小学校で給食が開始された。当時は完全給食ではなく、副食がミルクであったと思われる。

＝豊能町史

129名の3年生卒業おめでとう

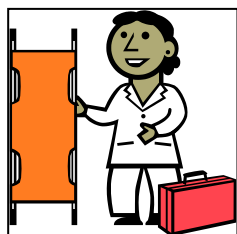
今季の冬は、昨年12月の初め以降、2月の下旬になっても厳しい寒さが居座り続けました。例年なら、ストーブを使用しない日もたびたびありましたが、今年はずっと10℃以下の毎日でした。心配されたインフルエンザでの学級閉鎖もなく、中でも3年生の罹患者は少なく、体調管理をしっかりできていたからだと思えます。2月20日に競争倍率が5倍・4倍という高校もあった公立前期選抜が終わりました。後期選抜の受検に向かって頑張っている人もあります。進路がすでに決まった人も、最後まで努力している人を応援できるクラスにしてください。



さて、3年生は3月14日に本校第66回卒業証書授与式を迎え、3カ年の中学校課程を無事終了し、9カ年の義務教育を終えることとなります。3年生の皆さん、卒業おめでとう。まずは、家族の方に感謝してほしいと思えます。卒業式の練習も入試日程変更の関係から途切れ途切れの練習になりますが、短時間で集中力を持って臨んでください。2年生は、在校生代表として卒業式に出席します。立派な卒業式になるように、責任感と緊張感を持って臨んでください。

□3年救急救命講習 2月18日

保健体育の授業内で豊能消防署の方に来ていただき、中学3年生を対象に心肺蘇生法の講習をしてもらいました。保健体育科は中学校を卒業していく上で家族や友人のことを考え、自分自身で行動ができるようになってほしいという思いで今回の講習を計画しました。まず、豊能消防署の方からお話をしてもらい、実際に練習用の人形に心臓マッサージと人工呼吸をおこないました。最初は生徒に照れくささがありましたが、次第に一人一人が真剣な表情で取り組んでいる姿が見られ、「こんなに大変なのか!」や「疲れたあ!」といった体験しなければ感じられない声が聞こえてきました。



今回の講習を通して、人命を救うことの厳しさを肌で味わったのではないかと思います。

□1年校外学習(2月19日 神戸方面)

1年生は人権校外学習の一環として、2月19日に神戸市にある「人と防災未来センター」と「神戸市立王子動物園」に行きました。当日は、雨や雪が降る悪天候でしたが、生徒たちは班で協力し、一生懸命学習を進めていました。人と未来防災センターでは、被災された方の講演を聞いたり、館内の展示物を見学したりしながら、自分や家族・身のまわり人の命を守るには何ができるかを考え、一人ひとりメモを真剣にとっていました。その後、行った神戸市立王子動物園では、誰もがくらしやすい社会にするためには、という観点を持って、園内を見て回りました。

今回、学んだことを総合の時間を使って模造紙にまとめています。完成後、渡り廊下に掲示します。

□外部コーチ、環境ボランティア、民生委員、学習ボランティア等の方に感謝。

今年度も地域の方々から吉川中学校を積極的に応援・支援・協力をいただき、本当にありがとうございました。

今年1月末までで、延べ人数で外部コーチ496名、環境ボランティア66名、民生委員中庭整備等51名、本の読み聞かせボランティア27名、学習アドバイザー105名、合計745名の数多くの方々にお世話になりました。また、PTAの方々にも、2度にわたるクリーン作戦や1号館西側に花壇を手作りでの設置、生活指導委員さんには毎月登下校の見守りをしていただいております。さらには、「ふれあいのつどい」では、中学校を開催場所とし、西地区全体の大きな取り組みとして定着してきました。年々、地域の方々の力添えが多くなり、生徒たちへの好影響を感じております。今後とも、ご支援ご協力お願い申し上げます。

